

国内発生における新型インフルエンザ対策

平成21年5月
軽井沢町新型インフルエンザ対策本部

◆5月16日（土）、国内の新型インフルエンザ感染が確認されました。
新型インフルエンザの発生段階がこれまでの第一段階（海外発生期）から、第二段階（国内発生早期）に引き上げられました。

これにより、軽井沢町では5月18日に警戒対策本部から「対策本部」へ切り替えました。

◆今後、国内及び県内における感染拡大が懸念されるため、感染予防に努めてください。

※新型インフルエンザに関する情報は日々変化していますので、常に新しい情報に注意を払ってください。正しい知識を身につけ、落ち着いて対応することが大事です。

◇発熱相談電話

発熱や急性呼吸器症状（のどの痛み、せき、鼻汁など）、医療機関受診に関する質問、相談を受付ます。

佐久保健福祉事務所（佐久保健所） 電話0267-63-3163

◇一般相談電話

発熱相談以外の質問、相談（発生状況、予防方法など）を受付ます。

長野県庁 健康づくり支援課 電話026-235-7484

◇軽井沢町相談窓口

（昼間）軽井沢町保健センター（木もれ陽の里内）電話45-8549

（夜間）軽井沢町役場 電話45-8111

新型インフルエンザの感染の疑いのある方

■ メキシコ、アメリカ（本土）、カナダ等の新型インフルエンザ流行地に滞在し、7日以内に38度以上の発熱と咳や息苦しさなどの症状が出た場合には、直接、医療機関を受診せず、佐久保健福祉事務所（佐久保健所）の発熱相談電話に連絡してください。

■ 兵庫県等、国内流行地に7日以内に滞在した方で、同様の症状が出た方も同じです。

■ 移動は、公共交通機関を利用せず、自家用車等で移動してください。



感染を防ぐために・・・

町民の皆さんの自己管理予防と事業者の方々のご理解・ご協力をお願いします。

■ 人混みへの外出は控えましょう。

人と人が接触することにより感染が拡大するため、人混みへの外出をなるべく避けましょう。

■ こまめに手洗い・うがいをしましょう。

湿ったままの状態の石鹸は、ウイルスの付着の可能性があり望ましくありません。泡の出るポンプタイプの石鹸をお勧めします。

■ マスクを着用しましょう。

針金入りの不織布製マスクが推奨されます。特に、バスや電車等の閉鎖的な空間の中では、マスクを着用することをお勧めします。

■ 咳やくしゃみをするときにはティッシュや手で鼻と口を押さえてください。

マスクをせず、突然咳やくしゃみが出るときには、ティッシュや手で鼻と口を押さえてください。押さえた手は、すぐに石鹸で洗いましょう。

■ 感染しにくい生活をしましょう。

十分に休養をとり、体力や抵抗力を高め、日頃からバランスよく栄養をとり、規則的な生活をし、感染しにくい状態を保つことが重要です。

■ 二次感染予防のために保育施設等が臨時休業になった場合。

従業員の子ども等が通う保育施設等が臨時休業になった場合、当該従業員の勤務について、事業者の方はご配慮をお願いします。

通常のインフルエンザと見分けることは可能か？

- 症状が類似していて、見分けることは困難ですが、流行地への渡航歴や国内流行地への滞在や感染者との接触歴等が参考になります。
- 発熱や咳がある等不安な場合は、佐久保健所の発熱相談電話に連絡してください。

パンデミックに備えて、今から2週間程度の備蓄をしましょう

- いつ、パンデミック（フェーズ6、一般社会に急速に拡大）になるか分かりません。今から、2週間程度の備蓄をお勧めします。
- 備蓄品は、家で2週間程度生活することを想定して、品物を揃えてください。品物は、乳児や高齢者や病人等、家庭により多少備蓄品が異なります。基本の備蓄品は、町の広報かるいざわ（号外）やホームページ等で確認してください。

